

CASBEE-新築(簡易版)2010年版  
鎌倉福原テラス

使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010  
評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.5)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.2
Q1 室内環境			0.40					3.7
1 音環境		4.0	0.15	3.6	1.00			3.7
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	0.50			
2 設備騒音対策		-	-	3.0	0.50			
1.2 遮音		5.0	0.50	4.3	0.50			
1 1 開口部遮音性能	サッシの遮音性能:T-2	5.0	1.00	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能	界壁:コンクリート150mm厚(Dr-50)	-	-	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	界床遮音性能(軽):Lr-45	-	-	4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	界床遮音性能(重):Lr-50	-	-	4.0	0.20			
1.3 吸音		-	-	-	-			
2 温熱環境		2.0	0.35	5.0	1.00			4.1
2.1 室温制御		3.0	0.50	5.0	1.00			
1 1 室温		3.0	0.63	-	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能	<住> 熱損失係数Q:2.34 ~ 2.39 2.7	3.0	0.38	5.0	1.00			
4 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		1.5	0.25	4.0	1.00			3.3
3.1 昼光利用		1.8	0.30	4.0	0.50			
1 1 昼光率	<住> 昼光率=3.8% 2.0%	1.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		1.0	0.30	4.0	0.50			
1 1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御	<住> カーテン+庇で制御を行う	1.0	1.00	4.0	1.00			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		1.0	0.25	-	-			
4 空気環境		3.6	0.25	3.6	1.00			3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
1 1 化学汚染物質	全面的にF 採用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
1 1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.5
1 機能性		3.4	0.40	4.2	1.00			3.9
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60			
1 1 広さ・収納性		-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応	各住戸にGbitクラスのブロードバンドが利用可能	-	-	5.0	1.00			
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法、神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例をクリア	4.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40			
1 1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.3	0.31	-	-			3.3
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.9	0.33	-	-			
1 1 躯体材料の耐用年数	品確法で劣化等級3	5.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	コンクリート打ち出し補修の上、タイル貼り=40年	5.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:フローリング、壁:ビニルクロス貼り、天井:ビニルクロス 最短20年より	4.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種類以上にC以上を使用	4.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	光ケーブル+マルチケーブル、精密機器の浸水の危険性がない。	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.1	0.29	3.1	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	
1	階高のゆとり		-	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.1	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性	構造部材を痛めることなく、修繕・更新ができる。	4.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.3
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	評価するポイントの合計が14ポイント	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.5
1 建物の熱負荷抑制		省エネルギー対策等級 4	5.0	0.40	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		2.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電を採用する。	5.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		集合住宅の評価4.7、潜熱回収型給湯器の採用	4.7	0.40	-	-	4.7
		集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	#VALUE!	-	-	-	
		集合住宅の評価	4.7	-	-	-	
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		-	-	-	-	-
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水コマ+省水型機器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.63	-	-	2.9
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材、再利用可能なユニット部材(リ-リ)採用	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0 かつ GGWPが低い発泡剤を用いた断熱材を使用	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		LCCO2削減率(1-LCCO2排出率)=30%	4.2	0.33	-	-	4.2
2 地域環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	評価するポイントの合計が13ポイント	4.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	